



ヘチマからたくさんの種がとれました！

5年「寒くなると」の学習では、春に種をまいたヘチマが暑い夏にぐんぐん大きく成長し、秋にはたくさんの実ができました。その実が枯れてカラカラに乾燥した後、たくさんの種がつまっていました。それをみんなで取り出してみると…。



プールフェンスに垂れ下がるヘチマ

教室にブルーシートを敷いて、我先にとカットしたヘチマを手に取り、一気に種を出す子どもたち。種の多さに歓声がわきました。



6本のヘチマの実から取り出せた種の重さは357gでした。
(白い入れ物は差し引いています。)

種を1個ずつ数えるなんて時間が足りません。そこで、10個の重さを量ると2gでした。

$$10\text{個} = 2\text{g}$$

$$357\text{g} \div 2\text{g} = 178.5$$

つまり、10個の178.5個分になります。

$$178.5 \times 10 = 1785\text{個}$$

6本のヘチマから約1785個とれたことになるので、

$$1785\text{個} \div 6\text{本} = 297.5\text{個} \quad \text{約}300\text{個と分かりました！}$$

桜は葉が落ちて枯れてはいませんね。



切ると中は緑色！水分もいっぱい！



つぼみは芽。芽は葉と花の2種類あります。



4月の写真と同じ場所で撮りました。葉が落ちた様子や、葉の色の違いがよくわかります。



4年生の理科では、四季の変化について観察を通して学習しました。